

2018年 3月30日

お客様各位

株式会社日立ソリューションズ
Palo Alto Networks 製品ユーザサポート

PAN-OS 6.1 と PAN-OS 7.0 における vulnerability threat ID の不足について

拝啓 平素は Palo Alto Networks 製品ユーザサポートをご利用くださいまして誠にありがとうございます。

この度、Palo Alto Networks 社より PAN-OS 6.1 と PAN-OS 7.0 において、脆弱性に対する新規シグネチャを作成するための vulnerability threat ID の枯渇についてアナウンスがございました。

PAN-OS 7.1 以降をご利用のお客様には影響はございません。

1. 該当するお客様

- ・ PAN-OS 6.1 (6.1.19 以前)、もしくは PAN-OS 7.0 をご利用のお客様

2. 概要

- ・ PAN-OS 6.1 と PAN-OS 7.0 において、脆弱性に対する IPS シグネチャを新規に作成するための vulnerability threat ID の枯渇が近づいております。
- ・ PAN-OS 6.1 に対しましては、PAN-OS 6.1.20 のメンテナンスリリースにて、新たな vulnerability threat ID の範囲を設ける修正が行われました。
- ・ PAN-OS 7.0 に対しましては、既にサポート終了（2017年12月4日）を迎えておりますためメンテナンスリリースは行われません。
- ・ 該当 OS に対しては、2018年3月から既存の vulnerability threat ID が枯渇するまでの期間、新規の high と critical の CVE に対してのみシグネチャのリリースが行われます。

（完全に枯渇するのは3か月から6か月を見込んでおります。既存の ID を活用するため medium と low のシグネチャのリリースは行われません。）

3. お客様への影響

- ・ 2018年3月以降、該当 OS をご利用のお客様は、新規の high と critical の CVE に対してのシグネチャのみがご利用可能となります。
- ・ 既存の vulnerability threat ID が枯渇した後、該当する PAN-OS をご利用のお客様は新規シグネチャをご利用いただくことができなくなります。

4. 対応策

ご利用頂いている機器にて、全ての **Thread Prevention** を継続してご利用頂くためには、下記のご対応を実施して頂く必要がございます。

- PAN-OS 6.1 をご利用のお客様は PAN-OS 6.1.20 以降へのアップグレード、もしくは PAN-OS 7.1 以降へのアップグレード。

※PAN-OS 7.1 以降をご利用のお客様は、対応は必要ございません。

以下、PaloAlto Networks 社ページも併せてご確認ください。

- PaloAlto Networks 社メーカナレッジ（日本語訳）
[https://live.paloaltonetworks.com/t5/ナレッジドキュメント/PAN-OS-6-1とPAN-OS-7-0における vulnerability threat ID の不足について/ta-p/207568](https://live.paloaltonetworks.com/t5/ナレッジドキュメント/PAN-OS-6-1とPAN-OS-7-0におけるvulnerabilitythreatIDの不足について/ta-p/207568)

以上